

第28年第9號 978頁

“肌焼クロム鋼の緩和滲炭に関する研究”

正 誤 表

表 題

- 978 表題下に(日本鐵鋼協會第27回講演大會講演 昭17.4.東京)を挿入
 “ 著者名脚註として 神戸製鋼所 を挿入

獨 語 序 文

第8行目	Chromi-	Chrom-
第9行目	geprüf	geprüft
第10行目	dürchrte	dürchführte
第18行目	bestäigte	bestätigte
第25行目	Zeitverlust durch	Zeitverlust <u>auszugleichen</u> durch
第26行目	Zementationsmittel und	Zementationsmittel <u>zu vermeiden</u> und
第27行目	zu vermeiden	zu <u>verwenden</u>
第31行目	und Teile	und <u>3</u> Teile

本 文

頁	行	誤	正
979	第1圖	周邊炭量	周邊炭素量
"	右側第1行	Mg.	Mn
980	左側最下行	Ac ₃	Ac
"	右側第4行	Ac ₃	Ac _m
"	第4圖	Monopenng	Monypenny
981	左側第27行	4 y	4 h
984	寫真第3	1/2% CrMnMo 鋼	2/1% CrMnMo 鋼
985	寫真第4	[滲炭の儘]と[1000°C. 30 mn]の寫真入替	
988	第3表(ハ)法第3行目	1.30 mm	1.80 mm
"	"(滲炭の儘)第1行目	密 度	密 集
990	左側第5行目	F. Bruhl ⁵⁾	F. Brühl ⁴⁾
"	右側下より第9行目	約 40 迄	約 40% 迄
"	右側下より第2行目	或は添加	或は BaCO ₃ の添加
1002	第13圖 d)~h) 中	二次焼入水冷	二次焼入油冷
1005	文獻中第1行	7 號, 744~756 頁	8 號, 834~861 頁